

◎4月2日（日）開催、第3222回例会  
単独例会  
陽春ハイク「有馬川緑道の花見と丸山金仙寺湖  
散策」報告

再度支部 細川 晴弘

午前9時に神戸電鉄岡場駅に集合。天気は、爽やかな初夏を思わせる絶好の花見日和であった。参加人数は25人。朝礼では、新しく再度支部に入会された横山さん、芋田さんの紹介がありました。

駅前から阪急バスで金仙寺口まで行き、有馬川緑道を下山口まで散策する予定でしたが、不覚にも乗るべきバスを間違え終点山口営業所前で下車することとなりました。44番のバスということで、何の疑いもなく前の人に続いて乗車してしまいましたが、自分の行動は常に自身で確認する必要があると改めて思いました。そこから東へ歩くこと約15分、有馬川緑道に到着。



有馬川緑道の桜並木

有馬川緑道は、六甲山地から武庫川に合流するまで有馬川に沿うように、1.3Kmにわたって整備された散歩道です。今年は桜の開花が早く、今回の花見はラストチャンスという感じでしたが、清々しい豊かな自然の中で桜を満喫することができました。

各自自由に散策した後、下山口に集合。国道

176号線を東行し一路丸山山頂を目指しました。丸山は標高378mと下山口からの標高差は約150m。等高線が年輪のように円形で非常に形の良い山です。登山口には丸山稲荷神社の大きな鳥居があります。参拝をしながら参道を登り、頂上の奥社前の広場で昼食を取りました。



丸山稲荷神社鳥居前での記念撮影

頂上には「丸山城跡」の石碑があり、初めて知ったのですが、ここには戦国時代、湯山街道と丹波街道を眼下に見下ろす要害の地として山口氏が居城を置いていたとのこと。2021年に神戸新聞に連載されていた「ひょうごの城」によると土塁や廓（くるわ）が残っているそうですが、全く気が付きませんでした。



丸山城跡石碑

昼食後、丸山を南参道から下山。前述の山口氏の菩提寺であった洗足山金仙寺観音堂を経て、金仙寺湖西岸を金仙寺橋まで南下。

金仙寺湖は、船坂川を丸山ダムで堰き止めたダム湖とのことですが、面積約 27 万㎡と堂々たるもので、爽やかな風が吹き渡り清々しい気分を味わえました。



金泉寺湖を望む



金泉寺湖畔での記念撮影

金仙寺口到着が予定時間よりかなり早かったので、岡場駅までの約 3Km を歩くことになり、午後 1 時半に駅に、到着、解散となりました。約 4 時間、8Km のハイクでした。